



晴ればれチャンネル18 2008

ぬくもりある市政の実現!

山田はるひこNEWS

●発行所:川崎市議団 ●発行人:山田晴彦 川崎市宮前区野川2650-15
TEL:788-1858 FAX:788-2695
●印刷所:光明印刷 川崎市幸区塚越4-345

❖ 危機管理 ❖



無駄を省いた防災備蓄の取組について(危機管理対策費に関連して)

平成16年の第4回定例会で備蓄の入れ替え費用としてアルファ米が5万食分、金額にして約1千万円が廃棄される実態を明らかにし、流通備蓄等の推進と有効活用を図るよう提案しました。

❖ この間の取組と成果について

答弁(総務局長) 平成16年度は65%を処分していたのに対し、平成18年度は37%の処分となり約370万円相当の削減効果がありました。また流通備蓄は、大手スーパーマーケット・生協など多くの団体等と協定を締結しました。今後は防災協力企業登録制度の構築や関係団体を含めた協議会の設置など体制整備をしまいにあります。保存期限のあるものに対しては最終年次に防災啓発を目的に炊き出し訓練やイベントに活用しています。



備蓄倉庫の配備と避難所の鍵の管理を

答弁(教育長) 地域防災拠点である中学校のうち備蓄倉庫が未整備である6中学校に対しては、速やかに整備してまいります。さらに、避難所となる小学校についても順次設置していきたい。避難所の鍵については、早急に対応いたします。また、備蓄倉庫については、小学校を含め設置を検討してまいります。

❖ 窓ガラスの耐震化 ❖

教室窓ガラスの耐震化について



校舎耐震化が注目される中、子どもたちにとって最も身近な教室の窓ガラスが危ないことを指摘し耐震化がなされていない学校を明らかにし、対応を求めました。

答弁(教育長) 耐震化がなされていない105校のうち、平成22年度までに36校を整備します。また、残り69校については、教育環境整備検討プロジェクトを設置し検討してまいります。



川崎市議会

平成19年第4回市議会定例会決算

審査特別委員会(9月議会)についてご報告いたします。

窓ガラスをアルミサッシ化し、強化ガラスを入れることは、断熱効果も高まることから学校の冷房化を効率よくします。学校の冷房化の整備年度が決まりましたので同時平行で平成22年度までに完成するよう強く要望いたしました。

❖ 病院に給水施設の整備 ❖



病院の災害時の応急給水施設の整備を

平成16年の第4回定例会で、地域防災拠点である中学校への応急給水施設設置を求め、24年度を目途に整備することが明らかになりました。水を多く使用する人工透析など医療機関の整備が急務であることを指摘し対応を求めました。

答弁(水道局長) ベット数が200床以上の病院と人工透析を実施している医療機関を抽出して耐震化を進めています。整備対象は43箇所、うち本年度に2箇所を整備することで18箇所になる予定です。今後は具体的な計画を策定し、実施してまいります。



❖ 緊急通報システム ❖



緊急通報システム拡充

一人暮らし高齢者が増加する中で、孤独死の問題が大きな社会問題になっています。緊急通報システムの申請方法や利用方法を知らない人が大勢いる、市が発行する保険料の通知書などに利用方法を載せるなど工夫して周知すべき。



一般質問に立つ山田議員

答弁(健康福祉局長) ご指摘の点も踏まえて効率的な方法を検討してまいります。

家族の方は、障害および介護認定や生活用具の契約のため手続きに大変ご苦労されている。事務手続きの簡略化や申請書類の文字の大きさなど配慮すべき。

答弁(健康福祉局長) 利用者の方やその家族の方に出来るだけ負担にならぬよう、申請書等の文字を大きくするなどを含めて検討してまいります。